

訪問看護



No.25

問 訪問看護ステーション
☎32 - 2416

ステーション便り

「病気や障がいがあっても、住み慣れた家で暮らしたい」「人生の最期を自宅で迎えたい」と望まれる方が増えています。しかし、「家族だけで介護や医療的ケアができるだろうか」「一人暮らしだけど大丈夫?」と不安に思うことも多いと思います。そんな時に頼りになるのが訪問看護です。今月は『訪問看護ステーション～ダイジェスト版～』をお届けします。

訪問看護とはどんなサービスですか？

看護師がお宅に訪問して、その方の病気や障がいに応じた看護を24時間365日行います。

主治医の指示を受け、医療と介護の両面の視点をもって生活全般をサポートします。「望む場所で、自分らしく暮らしたい」という希望にそえるよう、関係職種と連携して支えます。

どんな人が受けられますか？

主治医が必要と認めた方ならどなたでも、利用できます。

赤ちゃんから高齢者まで、病状が軽くても重くても、通院できても、できなくても、医療的な処置があっても、なくても大丈夫です。



保険と費用

医療保険か介護保険を使用します。かかった費用の自己負担は、保険の種類や所得・年齢により異なりますが、原則1～3割です。
※医療保険は、制度上で決められた病気や状態の方のみのご利用となります。



どんな看護をしてくれますか？

健康状態の観察、体調の悪化予防、自宅での看取り支援、療養生活の相談・アドバイス、点滴などの医療処置、痛みの軽減や服薬管理、緊急時の対応、関係職種との連携などを行います。



次回受診までの期間に、定期的に体調をみることで変化に早く対応でき、安心して療養生活を続けられるように支えます。

どのくらい来てくれますか？

ご本人やご家族のご希望をうかがい、どのくらい訪問すればよいか決めますが、体調によっては毎日伺います。

どうしたら受けられますか？

受診・入院している医療機関、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、市役所の介護・福祉担当窓口、ケアマネジャーなどにご相談ください。



どのタイミングで利用する？

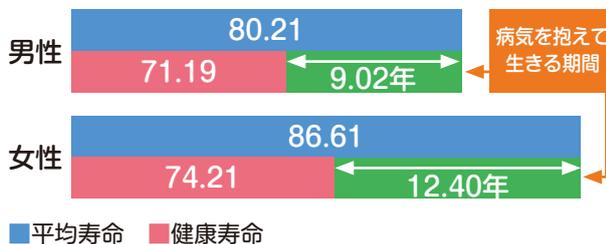
- ・体調が不安定で、予約日より早く受診することが増えた
- ・療養生活していて困ることが増えてきた
(以前出来ていたことができなくなった等)
- ・入退院を繰り返している
- ・最期まで住み慣れた自宅で過ごしたい
などの場合にご利用を検討していただくと良いでしょう。

ご存知ですか？平均寿命と健康寿命

日本は長寿国となり、平均寿命はこれからも延びると言われています。その一方で問題になっているのが、「病気を抱えて生きる期間」も延びていることです。

健康増進・介護予防・持病の悪化を予防することで、平均寿命と健康寿命の差を短縮することができ、個人の生活の質の低下を防ぐことができます。

【平均寿命と健康寿命の差】2010年



訪問看護は『暮らしを支える看護』



by 日本看護協会

定期的に訪問することで、体調の変化を早く見つけ、持病の悪化を予防します。

「自分らしく過ごすためにどのように暮らしたいか」に寄り添い支えます。

そして、最期までご自宅で過ごしたい方を支えます。